

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

名称：横浜市飯島保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：丸山良子	定員（利用人数）： 60名（66名）	
所在地：横浜市栄区飯島町527		
TEL：045-871-3661	ホームページ：	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 1968年7月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：横浜市		
職員数	常勤職員：14名	非常勤職員：30名
専門職員	（専門職の名称） 名	
	保育士：園長 1名 保育士：主任 1名	保育士：26名 調理員：3名
施設・設備 の概要	（居室数）	
	乳児室（0～2歳児室） 2室	鉄筋コンクリート造り 2階建て 建物延べ床面積 398㎡ 園庭 817㎡
	幼児室（3～5歳児室） 3室	
	調理室 1室	
職員休憩室（更衣室） 1室		

③ 理念・基本方針

【保育理念】

～子どもたちの健やかな成長と幸せを願って～

【保育方針】

- ・夢中で遊ぶ子を 育む保育
- ・豊かに表現する子を 育む保育
- ・思いやりの心を 育む保育
- ・考えて行動する子を 育む保育

④ 施設・事業所の特徴的な取組

【立地および施設の概要】

横浜市飯島保育園は、昭和43年7月1日に横浜市の公立認可保育園として開園し、0歳児から5歳児まで、定員は60名で現在65名が在籍しています。園はJR・横浜市営地下鉄ブルーライン戸塚駅からバスで15分のUR飯島団地内にあり、横浜市立飯島小学校と隣接をしています。園庭には築山をはじめ遊具（雲梯・すべり台等）や四季折々の豊富な植栽があるほか、散歩で利用する近隣の公園等の樹木や草花等から自然を感じることができます。

【園の特徴】

「やる気いっぱいかがやく目」「おひさまだいすき元気な子」「ともだちだいすき思いやりのある子」を園目標に掲げています。子ども一人ひとりの成長を大切に、各年齢に合わせ活動を広げていくことを職員で共有し合い保育を進めています。団地自治会、地域ケアプラザ、地区センターとの連携による子どもと地域のつながりのほか、育児支援にも力を入れ、園庭開放や育児講座等の開催を通じた交流もあり、地域の中の保育園としての役割も担っています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年4月26日（契約日） ～ 2022年2月25日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（2016年度）

⑥ 総評

◇特に評価の高い点

○子ども一人ひとりの成長を大切にした保育

1. 子どもの様々な活動

子どもたちは日々、園庭遊びや近隣の公園等に積極的に戸外に出ている、遊びの中で身体を進んで動かしています。各保育室内も、子どもが自分のやりたいことを自分で決められることを大切にしており、コーナー作り、職員のアイディアによる手作り品（低年齢児向けの壁掛け玩具、冷蔵庫・洗濯機等の大型おもちゃ、配慮が必要な子ども向けの衝立等）が豊富です。また、クワガタや蚕の世話のほか、園庭でメダカを飼育し、年間を通して観察できるようにしています。さらに園では地域とのつながりを大切に考えています。団地内の七夕では飾りをつくり、蚕のエサの桑の葉を近隣の幼稚園にもらいに行くなど、また、郵便局、八百屋、魚屋等に行き子どもたちが地域の人に接する機会、社会体験が得られる機会を多く持ち、園生活が豊かになるようにしています。

2. 家庭との協力のために

0歳児から生活に必要な基本的な生活習慣の獲得を意識した保育を心がけ援助をしています。保護者に園で行っていることを伝え、アドバイスをし、配付物等を利用してお知らせし、歯磨きに関するアンケートをとるなど、家庭と協力して進めています。全体的な計画の中でも基本的な生活習慣にスポットをあてた「就学までに育てほしい基本的な生活習慣」計画書を独自に作成しています。

3. 職員間の連携

「子どもは描く」「セーフコミュニティ」「園芸」等の10の部会に分かれて、全職員がいずれかに入り（複数可）職員同士で語り合いを中心に保育実践や課題に向けて園内研修を行っています。働き方に違いがある非常勤職員も活動ができるように同じ内容で複数回開催をしています。また、入園前の保護者からの提出書類や個別面談記録等からの情報をまとめた園独自の書式による個人票を作成しています。子どもを取り巻く環境を丁寧に探りながら職員間で理解を深めることで子ども一人ひとりの保育および、要支援家庭のより適切なアセスメントおよび具体的な支援につなげていくようにしています。

◇改善を求められる点

1. 育児支援の継続

コロナ禍が続いていますが、園独自の子育て支援（園庭開放・育児講座等）、複数の地区センター等と連携をした出前講座等を積極的に行っています。今後もこれらの活動を通じて地域の子育て支援事業としての園の役割を継続することが期待されます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

目的としては、日々の保育を振り返り、更なる保育の充実と質の向上を目指すために全職員が共通理解や共有を図る良い機会となるために受審を決めました。

コロナ禍の中で出来る事を模索しての保育状況でしたが、新しい事に挑戦できる良い機会になりました。少人数での話し合いの場を多く持った事で自分の考えや今まで行って来た事を振り返り、伝え合い、語り合い等をおこなうことが出来ました。マニュアル見直し、改善、行事の在り方、目的等考えを伝え合うことで園全体の課題も見つけ改善策を話し合う機会が多く持てました。

「保育の中で大切にしていることや大切にしたいことを」職員間で共有され、環境整備、保育に対する意識向上に繋がりました。

今回、受審したことにより、今後、新しい気づき、課題を真摯に受け止め全職員で共有し保育に対し同じ思い、意識を持って取り組んでいく大切さを改めて感じました。

保護者の皆様にはお忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。いただいたご意見、課題となった点につきましては職員間で共有し今後の園運営に活かしてまいりたいと思います。評価機関の皆様には、共に考える視点で丁寧に見ていただきありがとうございました。飯島保育園の良い部分はどんどん伸ばし、課題に対しては改善できるようにこれからも職員一丸となって取り組んでまいりたいと思います。

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり